

大幸薬品

4574 東証1部

2014年9月16日（火）

Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

企業調査レポート
株式会社フィスコ

■ 積極的な広告宣伝等で感染管理事業の売上回復へ巻き返し

大幸薬品<4574>は「正露丸」「セイロガン糖衣A」を中心とする医薬品事業と、空間除菌剤「クレベリン」シリーズを中心とした感染管理事業を展開している。

2015年3月期の第1四半期（4-6月期）業績は、売上が前年同期比25.5%減の1,453百万円、営業利益が同33.4%減の414百万円となった。セグメント別では、医薬品事業の売上が前年同期比4.6%増の1,415百万円となり、中国・香港・台湾など海外における販売の好調が続いている。一方、消費者庁関連報道の影響により、感染管理事業の売上高は前年同期比94.5%減の32百万円、営業損益は14百万円の赤字となった。

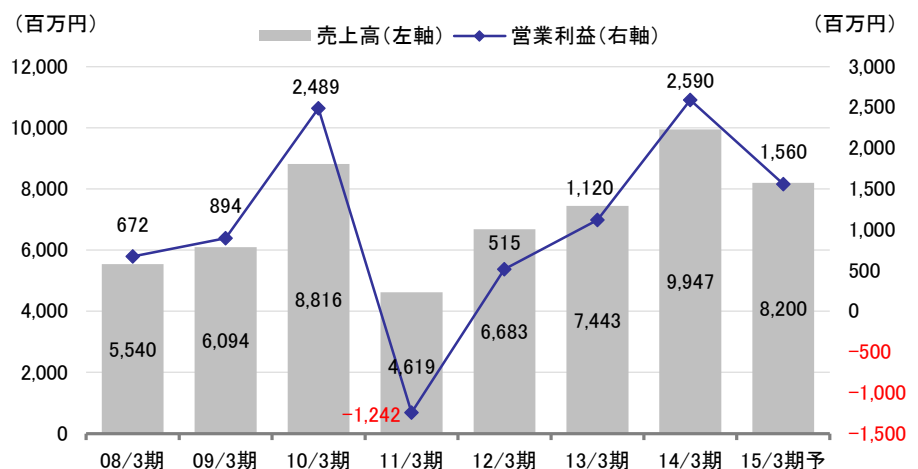
今後の同社の業績を占う上で、感染管理事業の動向が注目ポイントとなる。4-6月期は感染管理事業において返品が大きく増加したものの、消費者庁からの指摘事項は修正済みであるほか、同社は6月に措置完了報告書を提出して受理されている。これによって、措置命令への対応は完了している。

同社では今後、4-6月期に抑制した広告宣伝費を積極的に投入し、感染管理事業の売上回復に向けて巻き返しを図る方針。プロモーション活動などを強化すると同時に、衛生管理意識の啓発活動も継続する。足元において、「クレベリン」ブランドの信頼回復が進む中で、例年、売上が伸長する冬場の第3四半期（10-12月期）における業績拡大が期待される。

■ Check Point

- ・ 医薬品事業は引き続き海外における販売が好調
- ・ 感染管理事業は大幅減益も、通期は少なくとも前々期並み達成を期待
- ・ 措置命令への対応は完了、新用途開発による業容拡大も期待

売上高と営業利益の推移



■ 2015 年 3 月期第 1 四半期業績について

医薬品事業は引き続き海外における販売が好調

2015 年 3 月期の第 1 四半期 (4-6 月期) 業績は、売上高が前年同期比 25.5%減の 1,453 百万円、営業利益が同 33.4%減の 414 百万円、経常利益が同 35.6%減の 410 百万円、当期純利益が同 48.6%減の 271 百万円となった。医薬品事業は堅調であったものの、感染管理事業で前期末における消費者庁関連報道の影響が大きかった。

セグメント別では、「正露丸」「セイロガン糖衣A」「その他医薬品」で構成される医薬品事業の売上高が前年同期比 4.6%増の 1,415 百万円、営業利益が同 6.9%減の 705 百万円となった。同事業においては、引き続き、中国・香港・台湾など海外における販売が好調に推移している。具体的には、中国が前年同期比 14.1%増、香港が同 36.5%増、台湾が同 41.6%増といずれも 2 ケタの伸びとなった。

一方、国内販売については、「正露丸」が前年同期比 0.4%増、「セイロガン糖衣A」が同 4.1%減となった。足元の国内止瀉薬 (ししゃやく) 市場は、消費増税前の駆け込み需要の反動減によりやや停滞している。なお、医薬品事業のセグメント利益は減益となったものの、広告宣伝の強化やセグメント別の売上構成比の増加 (感染管理事業の売上高減少による) に伴う人件費配賦率の上昇など、コスト負担の増加が背景となっている。

2015 年 3 月期第 1 四半期累計業績

(単位: 百万円)

	14/3 期 1Q 累計		15/3 期 1Q 累計		
	実績	構成比	実績	構成比	増減率
売上高	1,952	-	1,453	-	-25.5%
売上原価	622	31.9%	322	22.2%	-48.1%
売上総利益	1,329	68.1%	1,131	77.8%	-15.0%
販管費	707	36.3%	716	49.3%	1.3%
営業利益	622	31.9%	414	28.5%	-33.4%
経常利益	638	32.7%	410	28.3%	-35.6%
四半期純利益	529	27.1%	271	18.7%	-48.6%

2015 年 3 月期第 1 四半期セグメント別業績

(単位: 百万円)

	14/3 期 1Q 累計	15/3 期 1Q 累計	
	実績	実績	増減率
売上高合計	1,952	1,453	-25.5%
医薬品事業	1,354	1,415	4.6%
感染管理事業	593	32	-94.5%
その他事業	4	5	25.3%
営業利益合計	622	414	-33.4%
医薬品事業	758	705	-6.9%
感染管理事業	157	(14)	-
その他事業	(5)	(6)	-
調整額	(288)	(270)	-



大幸薬品

4574 東証1部

2014年9月16日(火)

正露丸



セイロガン糖衣A



感染管理事業は大幅減益も、通期は少なくとも前々期並み達成を期待

空間除菌剤「クレベリン」シリーズの製造・販売を展開する感染管理事業の売上高は前年同期比94.5%減の32百万円、営業損益は14百万円の赤字となった。消費者庁関連報道の影響により返品額が出荷額を上回ったほか、前年同期は中国において鳥インフルエンザ報道を背景とした特需が発生したこともあって大幅減益での着地。対象顧客別では、一般用(ドラッグストアや調剤薬局、ホームセンター向けなど)が-58百万円、業務用(BtoB向け)が91百万円となり、相対的に業務用への影響は軽微となっている。

クレベリンゲル



クレベリンスプレー



車両用クレベリン



クレベリン発生機 リスパス NEO



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項(ディスクリーマー)をお読みください。

なお、感染管理事業における出荷ベースの（返品額を除いた）総売上高は136百万円であり、販売店による一時製品販売中止を考慮すれば、前々期程度の総売上高188百万円は確保できたであろう。現時点においては、販売店が当該製品の販売を再開したことから、通期売上高は少なくとも前々期並みは達成するであろう。一部の試算では、2014年4-6月期の感染管理事業のターゲットとなる市場規模は前年同期比16.8%増と拡大基調が続いているほか、後述の通り消費者庁措置命令への対応完了によって、第2四半期以降は同事業の巻き返しも期待される。

■ 今後の感染管理事業の見通しについて

措置命令への対応は完了、新用途開発による業容拡大も期待

今後の同社の業績を占う上で、感染管理事業の動向が注目ポイントとなる。前述の通り、3月に消費者庁が同社を含む二酸化塩素製品の販売業者17社に対して、景品表示法に基づく措置命令を出したことを受けて、4-6月期は感染管理事業において返品が大きく増加した。ただし、消費者庁からの指摘事項は修正済みであるほか、同社は6月に措置完了報告書を提出して受理されている。これによって、措置命令への対応は完了している。

4-6月期については同事業の売上高が大幅に減少したものの、消費者の信頼回復を最重要課題に掲げた施策は奏功したもよう。具体的には、一般用の販売先となるドラッグストアとの協力体制の強化などが挙げられる。一部のドラッグストアでは返品が発生したが、製品説明などを強化することなどによって、これまで以上に販売店との強固な関係が築かれたことは今後の販売動向に対してポジティブに働くことが想定される。また、消費者庁からの措置命令によって類似品が淘汰され、同社製品の販売機会が拡大することも追い風となるだろう。

同社では今後、4-6月期に抑制した広告宣伝費を積極的に投入し、感染管理事業の売上回復に向けて巻き返しを図る方針。プロモーション活動などを強化すると同時に、衛生管理意識の啓発活動も継続する。足元において、「クレベリン」ブランドの信頼回復が進む中で、例年、売上が伸長する冬場の第3四半期（10-12月期）における業績拡大が期待される。また、エボラ出血熱等の新たな感染症リスクの広がり、関心の高まりに加え、同社からは、デング熱等を媒介する蚊の忌避剤として二酸化塩素溶存液に関する特許が出されており、新用途開発による業容拡大も期待される。

ディスクレーマー（免責条項）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ